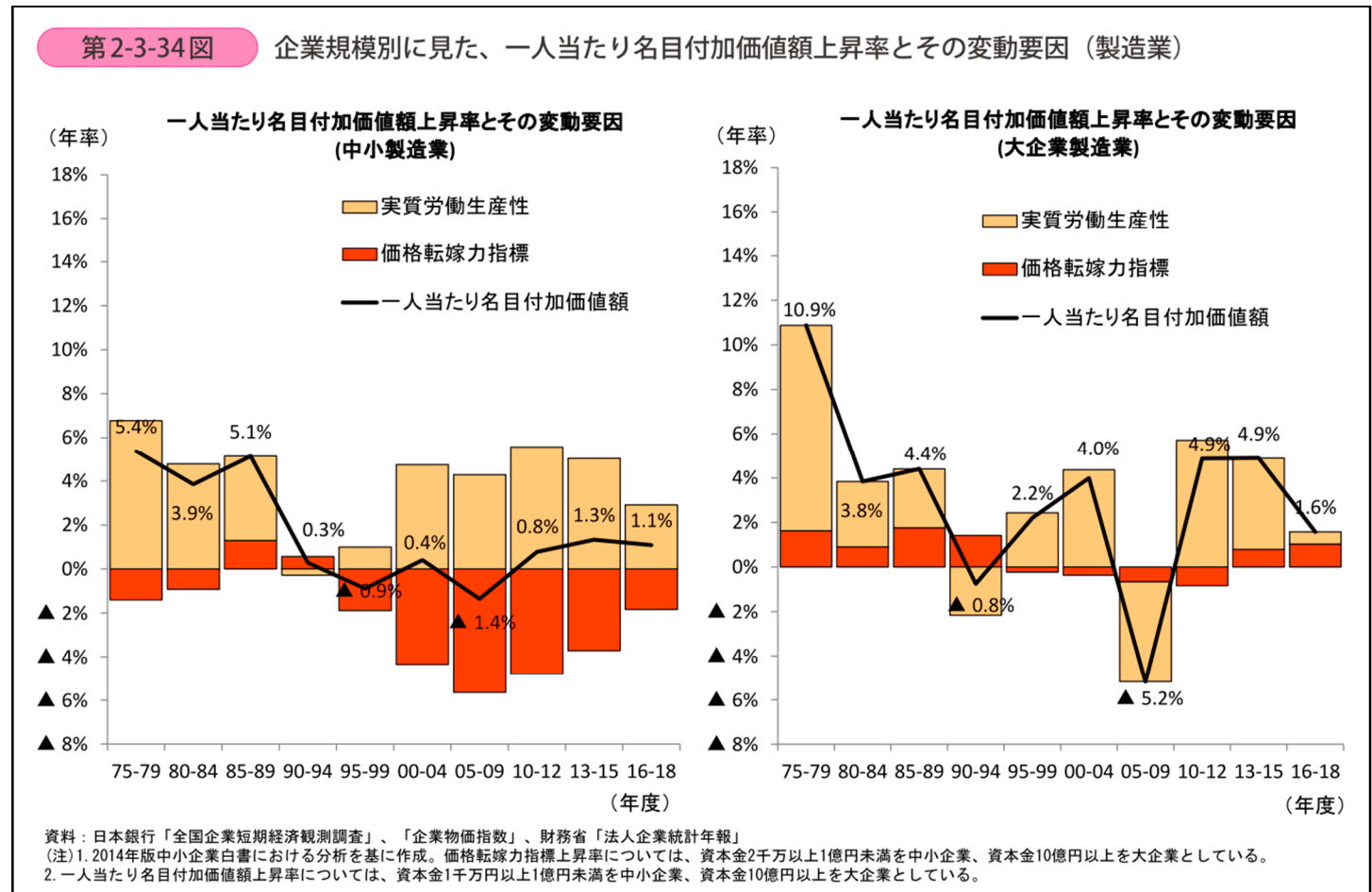


- 中小企業の実質労働生産性の伸び率は、総じて年率3~5%程度となっており、大企業と遜色ない水準。
- しかしながら、価格転嫁力指標の伸び率が、1995~99年度以降、一貫してマイナスであるがゆえに、中小企業の生産性（一人あたり名目付加価値額）の伸び率が1%程度に低迷していることが分かる。
- 中小企業の労働生産性の上昇を図る上で、価格転嫁は重要な要素であるといえる。



出典：経済産業省 中小企業庁「中小企業白書 2020年版」より岩淵友事務所作成

2021年6月8日 参議院経済産業委員会提出資料 日本共産党 岩淵友